

新キャリア教育プラン推進事業の概要

平成18年度予算額
88百万円

産業・経済の構造的変化に伴う
雇用形態の流動化・多様化

若者の勤労観、職業観や職業人
としての資質・能力をめぐる課題

進路意識が希薄なままとりあえず
進学したり就職したりする者の増加

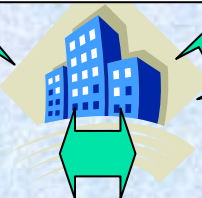
小学校段階から児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進が必要

インターンシップ連絡協議会



経済関係団体

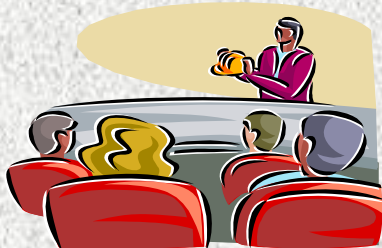
関係省庁



PTA等

経済関係団体、関係省庁、PTA等により国レベルでの
連絡協議会を設置し、インターンシップの実施やキャリア・
アドバイザーの活用方策等について連絡・協議を行う。

キャリア教育推進フォーラム



- 全国2会場で開催
- 若者、地域の関係者との
意見・情報交換
- 社会全体でキャリア教育を
推進する気運の醸成

キャリア教育推進地域



- 推進地域の指定(小・中・高を含む48地域)
 - ・キャリア教育実践協議会の開催
 - ・キャリア教育の学習プログラム開発
 - ・実践協力校
 - ① 小・中・高で一貫した指導内容・指導方法等の開発
 - ② 地元産業界等の人材をキャリア・アドバイザーとして活用
 - ③ 学校・産業界・関係行政機関等による職場体験活動推進のためのシステムづくり
- 学びなおしの機会の提供(10地域)
 - ・若年者雇用促進(学びなおし)地域推進協議会の開催
 - ・単位制の定時制・通信制高校において講座を開設